

## 耐震診断・耐震改修計画策定住宅概要書（個表）

（住宅耐震改修計画策定費補助）

住宅の名称	洲本 太郎	
住宅の所在地（地番）	洲本市本町三丁目 525-2	① 申請者の住所と同一 ② 申請者の住所と別
住宅の所有者	氏名	洲本 太郎
	住所	洲本市本町三丁目 4 番 10 号 TEL 0799-22-3321
建築確認年月日	昭和 37 年 4 月 3 日 第 洲〇 号 ・ 不明	
検査済証	昭和 38 年 3 月 31 日 第 洲〇 号 ・ 不明	
建築年月	昭和 38 年 4 月頃竣工	
形態種別	① 戸建住宅 ② 共同住宅	
	棟数 1 棟、戸数 1 戸（うち補助対象戸数 1 戸）	
規模（改修前）	地上 2 階 地下 階 塔屋 階	
	建築面積 90.00 m <sup>2</sup> 延べ面積 120.00 m <sup>2</sup>	
設備要件	① 居室 ② 台所 ③ トイレ ④ 出入口	
店舗等併用住宅の場合の規模	店舗等の用に供する部分の床面積	延べ面積に対する店舗等の用に供する部分の床面積の割合
	30.0 m <sup>2</sup>	25.0%
構造種別	① 木造 ② 鉄骨造 ③ 鉄筋コンクリート造 ④ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ⑤ その他（ ）	
住宅耐震改修計画策定費補助金額	200,000円	
住宅耐震改修計画策定費算定	戸建住宅	<input checked="" type="checkbox"/> 200,000円（上限） <input type="checkbox"/> 220,000円 耐震診断・耐震改修計画策定見積額（330,000）×2/3
	共同住宅	<input type="checkbox"/> 円＝ 円×（ ）戸（上限） <input type="checkbox"/> 円 耐震診断・耐震改修計画策定見積額（ ）×2/3
備考		

## 添付書類

- ・店舗等の部分がある場合は、求積図・求積表（店舗等の部分の床面積の割合がわかるもの）

## 耐震改修工事住宅概要書（個表）

(住宅耐震改修工事費補助)

住宅の名称	洲本 太郎		
住宅の所在地（地番）	洲本市本町三丁目 525-2		① 申請者の住所と同一 2 申請者の住所と別
住宅の所有者	氏名	洲本 太郎	
	住所	洲本市本町三丁目 4 番 10 号 TEL 0799-22-3321	
工事監理者 又は施工者	事務所等名	耐震建築株式会社	
	担当者氏名	耐震 進	TEL0799-24-7611
建築確認年月日	昭和37年 4月 3日 第 洲〇 号 ・ 不明		
検査済証	昭和38年 3月 31日 第 洲〇 号 ・ 不明		
建築年月	昭和38年 4月頃竣工		
形態種別	① 戸建住宅 2 共同住宅		
	棟数 1棟、戸数 1戸（うち補助対象戸数 1戸）		
規模 改修前：上段( )書き 改修後：下段	地上 ( 2 ) 階 地下 ( ) 階 塔屋 ( ) 階		
	建築面積 (90.00) m <sup>2</sup> 延べ面積 (120.00) m <sup>2</sup>	90.00 120.00	
設備要件	① 居室 ② 台所 ③ トイレ ④ 出入口		
店舗等併用住宅の 場合の規模	店舗等の用に供 する部分の 床面積	30.0 m <sup>2</sup>	延べ面積に対する 店舗等の用に供する部分 の床面積の割合 25.0%
構造種別	① 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋コンクリート造 4 鉄骨鉄筋コンクリート造 5 その他 ( )		
備考			

## 添付書類

- ・ 店舗等の部分がある場合は、求積図・求積表（店舗等の部分の床面積の割合がわかるもの）

### 耐震改修住宅概要書（個表）

（パッケージ型工事費補助）

住宅の名称	洲本 太郎		
住宅の所在地（地番）	洲本市本町三丁目 525-2		① 申請者の住所と同一 ② 申請者の住所と別
住宅の所有者	氏名	洲本 太郎	
	住所	洲本市本町三丁目 4 番 10 号 TEL 0799-22-3321	
建築確認年月日	昭和37年 4月 3日 第 洲〇 号 ・ 不明		
検査済証	昭和38年 3月 31日 第 洲〇 号 ・ 不明		
建築年月	昭和38年 4月頃竣工		
形態種別	戸建住宅		
規模 改修前：上段( )書き 改修後：下段	地上 ( 2 ) 階 地下 ( ) 階 塔屋 ( ) 階		
	建築面積 (90.00) m <sup>2</sup> 延べ面積 (120.00) m <sup>2</sup>	90.00 m <sup>2</sup> 120.00 m <sup>2</sup>	
設備要件	① 居室 ② 台所 ③ トイレ ④ 出入口		
店舗等併用住宅の場合の規模	店舗等の用に供する部分の床面積 30.0 m <sup>2</sup>	延べ面積に対する店舗等の用に供する部分の床面積の割合 25.0%	
構造種別	木造		
改修前における耐震診断結果※	改修前 点 ・ 未診断 (補助対象は、評点が0.7未満と診断されたものに限る)		
事業予定額 (補助対象経費)	耐震診断	50,000 円	
	耐震改修計画策定	250,000 円	
	耐震改修工事（見込み）	4,000,000 円	
	計	4,300,000 円	

添付書類

- ・ 店舗等の部分がある場合は、求積図・求積表（店舗等の部分の床面積の割合がわかるもの）

補助金 **算定** ~~精算書~~

住宅改修業者登録 **兵住改 A〇** 第 **〇〇〇〇** 号  
 所在地 **洲本市〇〇〇〇**  
 会社名 **耐震建築株式会社**  
 代表者名 **耐震 進** 耐震 印

下記のとおり **見積り** ・ ~~精算~~ 致します。

( **住宅耐震改修計画策定費補助**、住宅耐震改修工事費補助 )

住宅の所有者	洲本 太郎	
住宅の所在地	洲本市本町三丁目 4 番 10 号	
住宅の建て方 <sup>※1</sup>	<input checked="" type="radio"/> 戸建住宅 <input type="radio"/> 共同住宅	
(共同住宅の場合)	住戸数(a)	戸
	うち補助対象戸数(b) <sup>※2</sup>	戸
総工事費 (c)=(a)+(b)	4,000,000円	
補助対象工事費 (a)	3,500,000円	
その他工事費 (b)	500,000円	
補助金額 <sup>※3</sup> (f)	1,300,000円	

- ※1 住宅の建て方について、該当するものに○を付けて 補助対象工事費等は税抜き
- ※2 所得が 12,000 千円（給与収入のみの者にあつては給与収入が 15,950 千円）以下の県民が所有する住宅の戸数を記入してください。
- ※3 住宅耐震改修工事費補助の交付申請に使用する場合は、以下の算定表に基づき算出した補助金額を記入してください。（住宅耐震改修計画策定費補助の場合は記入不要）
- ※ 変更交付申請の際に使用する場合は、変更前を( )書きで併記してください。

【補助金額(f)の算定表】

区分	補助金額	
戸建住宅	補助対象工事費 (50 万円以上 300 万円未満の場合)	補助対象工事費 × 4/5 (上限 100 万円) (千円未満の端数切捨て)
	補助対象工事費 (300 万円以上の場合)	130 万円
共同住宅	補助対象工事費 × 4/5 (上限 50 万円/戸) (千円未満の端数切捨て)	

【添付書類】耐震改修工事費内訳書

耐震改修工事費内訳書 (例)

所在地 洲本市〇〇〇〇  
 会社名 耐震建築株式会社  
 代表者名 耐震 進



印

I. 直接工事費 内訳書

名称	数量	単位	金額	備考
A. 補助対象工事				
直接工事費	1	式	3,000,000	
共通費・諸経費	1	式	500,000	
小計(a)	1	式	3500,000	
消費税	1	式	350,000	10%
合計			3,850,000	
B. 補助対象外工事				
直接工事費	1	式	450,000	水回り改修工事等
共通費・諸経費	1	式	50,000	
小計(b)			500,000	
消費税	1	式	50,000	10%
合計			550,000	
総小計(c)=(a)+(b)			4,000,000	税抜き
総合計			4,400,000	税込み
A. 補助対象工事費				
A-1 直接工事費				
(1)直接仮設工事	1	式	3,000,000	
(2)耐震補強工事 1	1	式	〇〇〇〇	
(3)耐震補強工事 2	1	式	〇〇〇〇	
(4)屋根工事	1	式	〇〇〇〇	
( ) …	1	式	〇〇〇〇	
( ) …	1	式	〇〇〇〇	
A-2 共通費・諸経費	1	式	500,000	
A-3 消費税	1	式	350,000	
A 合計			3,850,000	
~~~~~				
~~~~~				

A. 補助対象工事費 内訳明細書

記入例

名称	摘要	数量	単	単価	金額	備考
(1)直接仮設工事						
墨出し		○	式	○○	○○○	
足場		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
養生		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
...						
計					○○○○	
(2)耐震補強工事 1	①和室 1					
構造用合板	t=12	○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
壁 部分解体		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
床 部分解体		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
天井部分解体		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
壁 部分仕上		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
床 部分仕上		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
天井部分仕上		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
片引きフラッシュドア	しな合板 W900*H1,820	○	箇所	○○	○○○	新設
計					○○○○	
////////////////////////////////////						
(4) 屋根工事						
屋根ふき替え工事		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
樋取替え工事	横樋 取替え工事	○	m	○○	○○○	
計					○○○○	
////////////////////////////////////						
( )						
計						

## 補助金精算書

住宅改修業者登録 兵住改 A〇 第 〇〇〇〇 号

所在地 洲本市〇〇〇〇

会社名 耐震建築株式会社

代表者名 耐震 進



印

下記のとおり精算致します。

(パッケージ型工事費補助)

住宅の所有者	洲本 太郎	
住宅の所在地	洲本市本町三丁目 4 番 10 号	
住宅の建て方 ※1	戸建住宅	
総費用 (f)=(e)+(d)	5,500,000円	
補助対象経費	耐震診断費 (a)	50,000円
	耐震改修計画策定費 (b)	補助対象工事費等は税抜き 250,000円
	耐震改修工事費 (c)	4,000,000円
	合計 (e)=(a)+(b)+(c)	4,300,000円
補助対象外経費 (d)	1,200,000円	

※1 所得が 1,200 万円（給与収入のみの者にあつては給与収入が 1,395 万円）以下の県民が所有する住宅の戸数を記入してください。

※2 補助対象金額の内容が分かる内訳書を添付すること。

【添付書類】耐震改修工事費内訳書

耐震改修内訳書 (例)

所在地 洲本市〇〇〇〇  
 会社名 耐震建築株式会社  
 代表者名 耐震 進



印

I. 耐震改修 内訳書

名称	数量	単位	金額	備考
A. 住宅耐震診断費用				
住宅耐震診断費用	1	式	50,000円	
消費税	1	式	5,000円	
小計(a)			55,000円	
B. 改修計画費用				
改修計画費用	1	式	250,000円	
消費税	1	式	25,000円	
小計(b)			275,000円	
C. 補助対象工事				
直接工事費	1	式	3,000,000円	
共通費・諸経費	1	式	1,000,000円	
消費税	1	式	400,000円	
小計(c)			4,400,000円	
D. 補助対象外工事				
直接工事費	1	式	1,000,000円	
共通費・諸経費	1	式	300,000円	
消費税	1	式	130,000円	
小計(d)			1,430,000円	
総計(f)=(a)+(b)+(c)+(d)				
C. 補助対象工事				
C-1 直接工事費				
(1)直接仮設工事	1	式	●●●, ●●●円	
(2)耐震補強工事 1	1	式	●●●, ●●●円	
(3)耐震補強工事 2	1	式	●●●, ●●●円	
(4)屋根工事	1	式	●●●, ●●●円	
( ) …	1	式	●●●, ●●●円	
C-2 共通費・諸経費	1	式	1,000,000円	
C-3 消費税	1	式	400,000円	
C 合計			4,400,000円	



C. 補助対象工事 内訳明細書

名称	摘要	数量	単	単価	金額	備考
(1)直接仮設工事						
墨出し		●	式	●●	●●●	
足場		●	m <sup>2</sup>	●●	●●●	
養生		●	m <sup>2</sup>	●●	●●●	
...		●		●●	●●●	
計						
(2)耐震補強工事 1	①和室 1					
構造用合板	t=12	●	m <sup>2</sup>	●●	●●●	
壁 部分解体		●	m <sup>2</sup>	●●	●●●	
床 部分解体		●	m <sup>2</sup>	●●	●●●	
天井部分解体		●	m <sup>2</sup>	●●	●●●	
壁 部分仕上		●	m <sup>2</sup>	●●	●●●	
床 部分仕上		●	m <sup>2</sup>	●●	●●●	
天井部分仕上		●	m <sup>2</sup>	●●	●●●	
片引きフラッシュドア	しな合板 W900*H1,820	●	箇所	●●	●●●	新設
計						
////////////////////////////////////						
(4) 屋根工事						
屋根ふき替え工事		●	m <sup>2</sup>	●●	●●●	
樋取替え工事	横樋 取替え工事	●	m	●●	●●●	
計						
////////////////////////////////////						
( )						
計					●●●	

## 耐震診断報告書

洲本市長 様

耐震診断者氏名 建築 士郎 印  
(一級) 建築士 (大臣) 登録第 〇〇〇〇〇〇 号  
建築士事務所名 耐震建築株式会社  
(一級) 建築士事務所 (〇〇) 知事登録第 〇〇〇〇 号

洲本 太郎 様の所有されている住宅の耐震診断の結果について、下記のとおり改修前及び改修後の耐震診断が行われた旨を確認しましたので報告します。この報告書及び添付資料に記載の事項は事実と相違ありません。

## 記

1 住宅の名称	洲本 太郎
所在地	洲本市本町三丁目 525-2
2 耐震診断の方法	一般診断法
3 改修前における耐震診断結果*1 評点 0.25	(所見) 2階の既存壁量に問題は見受けられないが、1階には開口部が多く、X・Y方向共に既存壁量が不足と筋違が入った壁が無い。また屋根も全体で非常に重い瓦屋根になっている。上部構造評点は1階X方向で0.30、Y方向で0.25になっており大きな地震により倒壊する可能性がある。
4 改修後における耐震診断結果 評点 1.20	(耐震改修の方針) 既存壁の耐震性を高め、可能な限り開口部を耐震壁としバランスの良い耐震壁を配置する。また、屋根の軽量化により上部構造評点は1.0を上回り耐震性の向上を図る。  (具体的な補強方法) 耐震化が必要な既存壁、開口部(計12箇所)を〇〇〇にて耐震補強し、屋根は金属製屋根に葺き替える。
5 備考	補助対象外工事として、水回り等の改修工事をする。

## 【添付資料】耐震診断計算書(改修前後)

1 12年度から14年度に実施した「わが家の耐震診断推進事業」又は17年度から実施している「簡易耐震診断推進事業」の診断結果を添付することにより改修前の耐震診断計算書を省略することができます。(改修後の耐震診断計算書は省略できません。)

### 耐震改修工事実施確認書

本耐震改修工事は、〇〇年 〇月 〇日付洲都第〇〇号の2の交付決定通知書のとおり実施しており、当該申請書に記載している改修後の耐震性能を有することを確認しましたので、耐震改修工事状況写真を添えて報告します。この確認書に記載の事項は事実と相違ありません。

耐震診断者氏名 **建築 士郎** 印  
 (一級) 建築士 (〇〇) 登録第 〇〇〇〇〇〇 号  
 建築士事務所名 **耐震建築株式会社**  
 (一級) 建築士事務所 (〇〇) 知事登録第 〇〇〇〇号

□ 耐震改修工事状況写真

1	住宅の名称	洲本 太郎
	所在地	〒656-0025 洲本市本町三丁目4番10号
2	工事写真撮影箇所図*	

1階平面図

※ 工事写真撮影箇所図の作成要領

- (1) 右図の例にならって撮影箇所を図示してください。
- (2) 補強箇所を明示し、凡例を設ける等して適宜補強方法を付記してください。

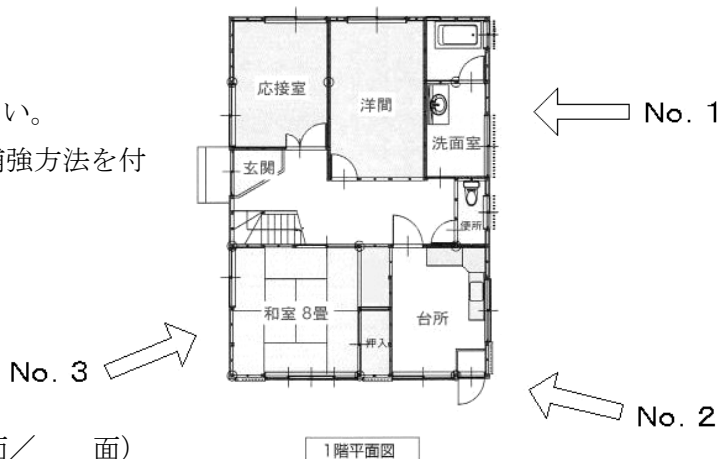
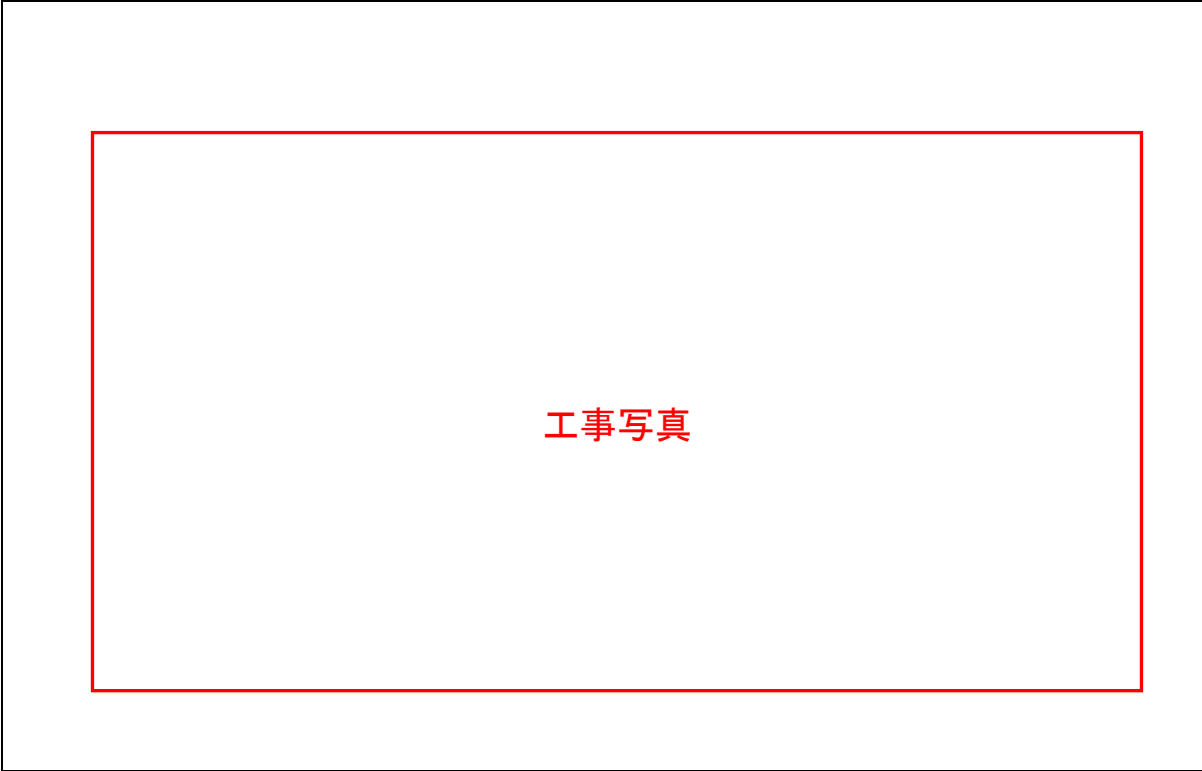


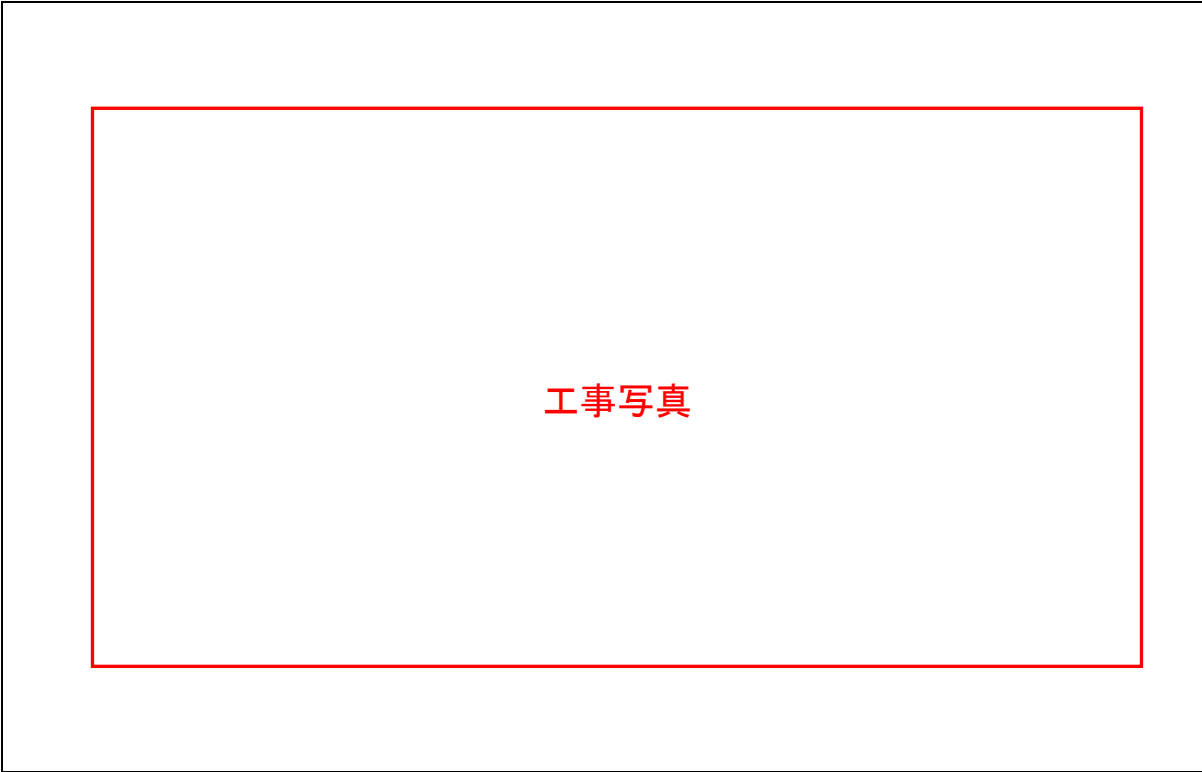
写真 No. ○○ 工事箇所 No. ○○ 工事内容 ( ○○○ )

記入例



工事写真

写真 No. ○○ 工事箇所 No. ○○ 工事内容 ( ○○○ )



工事写真

※ 写真枚数が多いときは、この用紙をコピーの上、お使いください。

## 耐震改修工事実績公表同意書

洲本市長 様

住宅改修業者登録 兵住改A〇 第 〇〇〇〇 号  
所在地 洲本市〇〇〇〇  
会社名 耐震建築株式会社  
代表者名 耐震 進



印

下記のとおり、本工事の実績を公表することについて、同意します。

### 記

#### 1 業者について

住宅改修業者登録番号、会社名、所在地、連絡先（TEL）、実施件数

#### 2 工事内容について

住宅改修業者登録番号、会社名、工事場所(市町名のみ)、補助種別、建て方、構造、  
築年数、階数、戸数、延べ面積、改修前評点、改修後評点、補助対象経費、工事内容、  
延べ面積当り評点上昇分当り補助対象経費※

※補助対象経費÷延べ面積÷（改修後評点－改修前評点）

## 耐震改修工事実績公表内容報告書

洲本市長 様

住宅改修業者登録 兵住改AO 第 〇〇〇〇 号  
 所在地 〒656-〇〇〇〇 洲本市〇〇〇〇  
 会社名 耐震建築株式会社  
 代表者名 耐震 進  
 連絡先 (TEL) 0799-24-7611



下記のとおり、本工事の実績について、報告します。

記

①	工事場所(市町名のみ)	洲本市
②	補助種別	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅耐震改修工事費補助 <input type="checkbox"/> パッケージ型工事費補助 <input type="checkbox"/> 簡易耐震改修工事費補助 <input type="checkbox"/> 屋根軽量化工事費補助
③	建て方	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅 <input type="checkbox"/> 共同住宅
④	構造	木造
⑤	築年数	54年
⑥	階数	地上 2 階 地下 階
⑦	戸数	1 戸
⑧	延べ面積 (㎡)	120.00 ㎡
⑨	改修前評点	0.25
⑩	改修後評点	1.20
⑪	補助対象経費 (円)	3,500,000円
⑫	工事内容	<input checked="" type="checkbox"/> 基礎、柱、はり、耐力壁等の補強工事 <input checked="" type="checkbox"/> 屋根軽量化工事 $350000 \div 120.0 \div (1.20 - 0.25)$ <input type="checkbox"/> 耐震改修以外の工事(補助対象経費に含まれている場合のみ)
⑬	延べ面積当り評点上昇 分当り補助対象経費※	30,701円

※補助対象経費(⑪)÷延べ面積(⑧)÷(改修後評点(⑩)-改修前評点(⑨))

## 耐震改修住宅概要書（個表）

（簡易耐震改修工事費補助）

住宅の名称	洲本 太郎	
住宅の所在地（地番）	洲本市本町三丁目 525-2	① 申請者の住所と同一 ② 申請者の住所と別
住宅の所有者	氏名	洲本 太郎
	住所	洲本市本町三丁目 4 番 10 号 TEL 0799-22-3321
建築確認年月日	昭和37年 4月 3日 第 洲〇 号 ・ 不明	
検査済証	昭和38年 3月 31日 第 洲〇 号 ・ 不明	
建築年月	昭和38年 4月頃竣工	
形態種別	<input checked="" type="checkbox"/> 戸建住宅	
規模（改修前）	地上 2 階 地下 階 塔屋 階	
	建築面積 90.00 m <sup>2</sup> 延べ面積 120.00 m <sup>2</sup>	
設備要件	① 居室 ② 台所 ③ トイレ ④ 出入口	
店舗等併用住宅の場合の規模	店舗等の用に供する部分の 30.00 m <sup>2</sup> 床面積	延べ面積に対する店舗等の用に供する部分 25.00% の床面積の割合
構造種別	<input checked="" type="checkbox"/> 木造 <input type="checkbox"/> 鉄筋コンクリート造 <input type="checkbox"/> 鉄骨造	
改修前における耐震診断結果 ※	改修前 0.25点 ・ 未診断 （補助対象は、評点が0.7未満と診断されたものに限る）	
事業予定額 （補助対象経費）	耐震診断	110,000円
	耐震改修計画策定	220,000円
	耐震改修工事（見込み）	3,500,000円
	計	3,830,000円

## 添付書類

- ・ 店舗等の部分がある場合は、求積図・求積表（店舗等の部分の床面積の割合がわかるもの）

## 補助金精算書

住宅改修業者登録 兵住改 A〇 第 〇〇〇〇 号

所在地 〒656-〇〇〇〇 洲本市〇〇〇〇

会社名 耐震建築株式会社

代表者名 耐震 進

耐震

印

下記のとおり精算致します。

(簡易耐震改修工事費補助)

住宅の所有者	洲本 太郎	
住宅の所在地	洲本市本町三丁目 525-2	
総費用 (f)=(e)+(d)	1,000,000円	
補助 対象 経費	耐震診断費 (a)	100,000円
	耐震改修計画策定費 (b)	200,000円
	耐震改修工事費 (c)	500,000円
	合計 (e)=(a)+(b)+(c)	800,000円
補助対象外経費 (d)	200,000円	

※ 1 補助対象金額の内容が分かる内訳書を添付すること。



耐震改修内訳書 (例)

記入例

I. 耐震改修 内訳書

名 称	数量	単位	金 額	備 考
A. 住宅耐震診断費用				
住宅耐震診断費用(a)	1	式	100,000	
消費税	1	式	10,000	
小計			110,000	
B. 改修計画費用				
改修計画費用 (b)	1	式	200,000	
消費税	1	式	20,000	
小計			220,000	
C. 補助対象工事				
直接工事費・共通費・諸経費(c)	1	式	500,000	
消費税	1	式	50,000	
小計			550,000	
D. 補助対象外工事				水回り改修工事等
直接工事費・共通費・諸経費(d)	1	式	200,000	
消費税	1	式	20,000	
小計			220,000	
総計(f)=(a)+(b)+(c)+(d)			1,000,000	税抜き
総小計			1,100,000	税込み
~~~~~				
C. 補助対象工事				
C-1 直接工事費				
(1)直接仮設工事	1	式	〇〇〇〇	
(2)耐震補強工事 1	1	式	〇〇〇〇	
(3)耐震補強工事 2	1	式	〇〇〇〇	
(4)屋根工事	1	式	〇〇〇〇	
( ) …	1	式	〇〇〇〇	
C-2 共通費・諸経費	1	式	〇〇〇〇	
C-3 消費税	1	式	〇〇〇〇	
C 合計			〇〇〇〇	

C. 補助対象工事 内訳明細書

名称	摘要	数量	単	単価	金額	備考
(1)直接仮設工事						
墨出し		○	式	○○	○○○	
足場		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
養生		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
...						
計					○○○○	
(2)耐震補強工事 1	①和室 1					
構造用合板	t=12	○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
壁 部分解体		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
床 部分解体		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
天井部分解体		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
壁 部分仕上		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
床 部分仕上		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
天井部分仕上		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
片引きフラッシュドア	しな合板 W900*H1,820	○	箇所	○○	○○○	新設
計					○○○○	
////////////////////////////////////						
(4) 屋根工事						
屋根ふき替え工事			m <sup>2</sup>			
樋取替え工事	横樋 取替え工事		m			
計						
( )						
計						

## 耐震診断報告書

洲本市長 様

耐震診断者氏名 建築 士郎 (建築印)  
(一級) 建築士 (〇〇) 登録第 〇〇〇〇〇〇 号  
建築士事務所名 耐震建築株式会社  
(一級) 建築士事務所 (〇〇) 知事登録第 〇〇〇〇 号

洲本 太郎 様の所有されている住宅の耐震診断の結果について、下記のとおり改修前及び改修後の耐震診断が行われた旨を確認しましたので報告します。この報告書及び添付資料に記載の事項は事実と相違ありません。

## 記

1 住宅の名称	洲本 太郎
所在地	〒656-0025 洲本市本町三丁目 525-2
2 耐震診断の方法	一般診断法
3 改修前における耐震診断結果※ <sup>1</sup>	(所見) 2 階の既存壁量に問題は見受けられないが、1 階には開口部が多く、X・Y 方向共に既存壁量が不足と筋違が入った壁が無い。また屋根も全体で非常に重い瓦屋根になっている。上部構造評点は 1 階 X 方向で 0.30、Y 方向で 0.25 になっており大きな地震により倒壊する可能性がある。
評点	0.25
4 改修後における耐震診断結果	(耐震改修の方針) 既存壁の耐震性を高め、可能な限り開口部を耐震壁としバランスの良い耐震壁を配置することにより上部構造評点は 0.7 を上回り耐震性の向上を図る。
評点	0.75
	(具体的な補強方法) 耐震化が必要な既存壁、開口部 (計 12 箇所) を〇〇〇にて耐震補強する。
5 備考	補助対象外工事として、水回り等の改修工事をする。

【添付資料】耐震診断計算書 (改修前後) ※<sup>1</sup>

※ 1 12 年度から 14 年度までの間に実施した「わが家の耐震診断推進事業」又は 17 年度から実施している「簡易耐震診断推進事業」の診断結果を添付することにより改修前の耐震診断計算書の添付を省略することができます。(改修後の耐震診断計算書の添付は省略できません。)

### 耐震改修工事実施確認書

本耐震改修工事は、 年 月 日付け 第 号の交付決定通知書のとおり実施しており、当該申請書に記載している改修後の耐震性能を有することを確認しましたので、耐震改修工事状況写真を添えて報告します。この確認書に記載の事項は事実と相違ありません。

耐震診断者氏名 **建築 士郎** 建築 印  
 (一級) 建築士 (〇〇) 登録第 〇〇〇〇〇〇 号  
 建築士事務所名 **耐震建築株式会社**  
 (一級) 建築士事務所 (〇〇) 知事登録第 〇〇〇〇号

□ 耐震改修工事状況写真

1 住宅の名称	<b>洲本 太郎</b>
所在地	〒656-0025 洲本市本町三丁目 525-2
2 工事写真撮影箇所図※	

1階平面図

※ 工事写真撮影箇所図の作成要領

- (1) 右図の例にならって撮影箇所を図示してください。
- (2) 補強箇所を明示し、凡例を設ける等して適宜補強方法を付記してください。

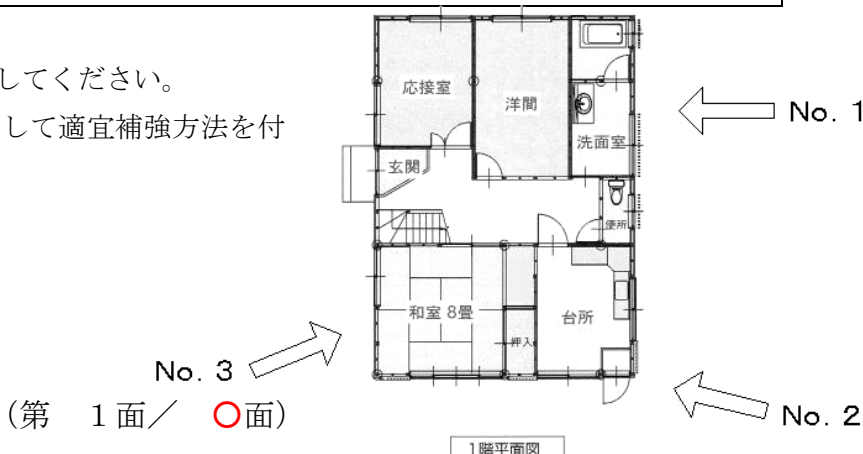
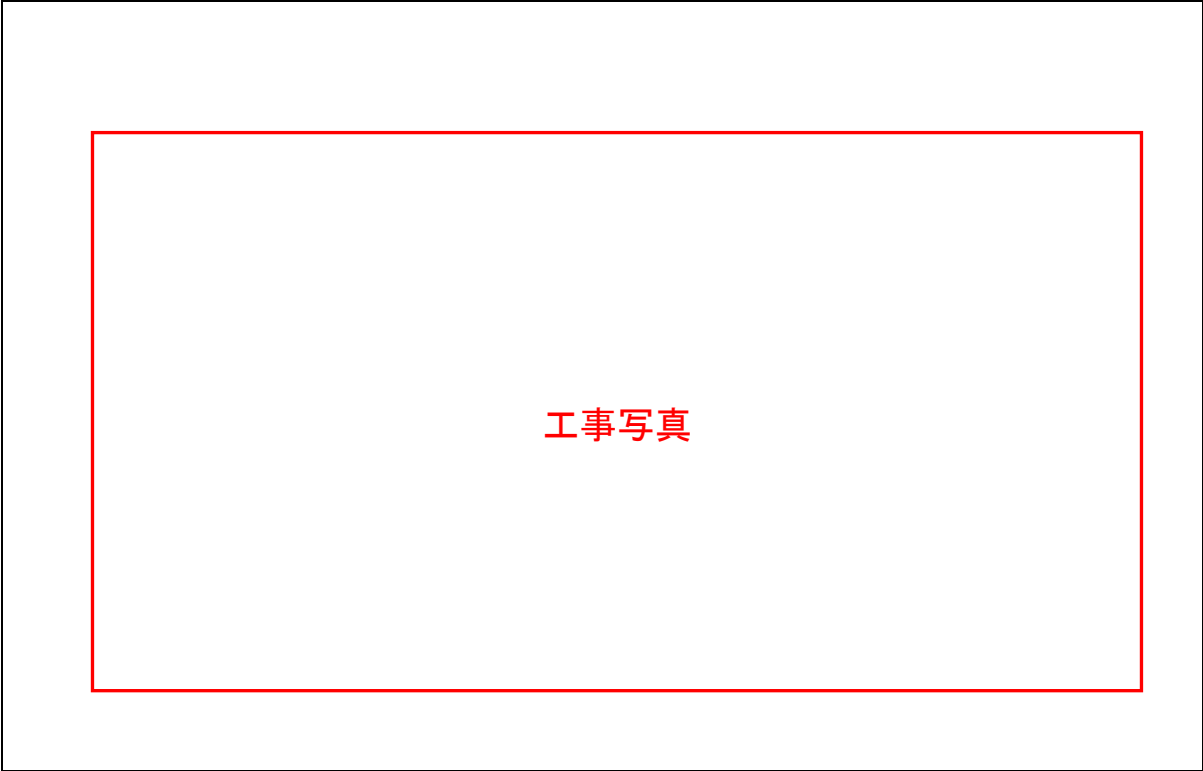


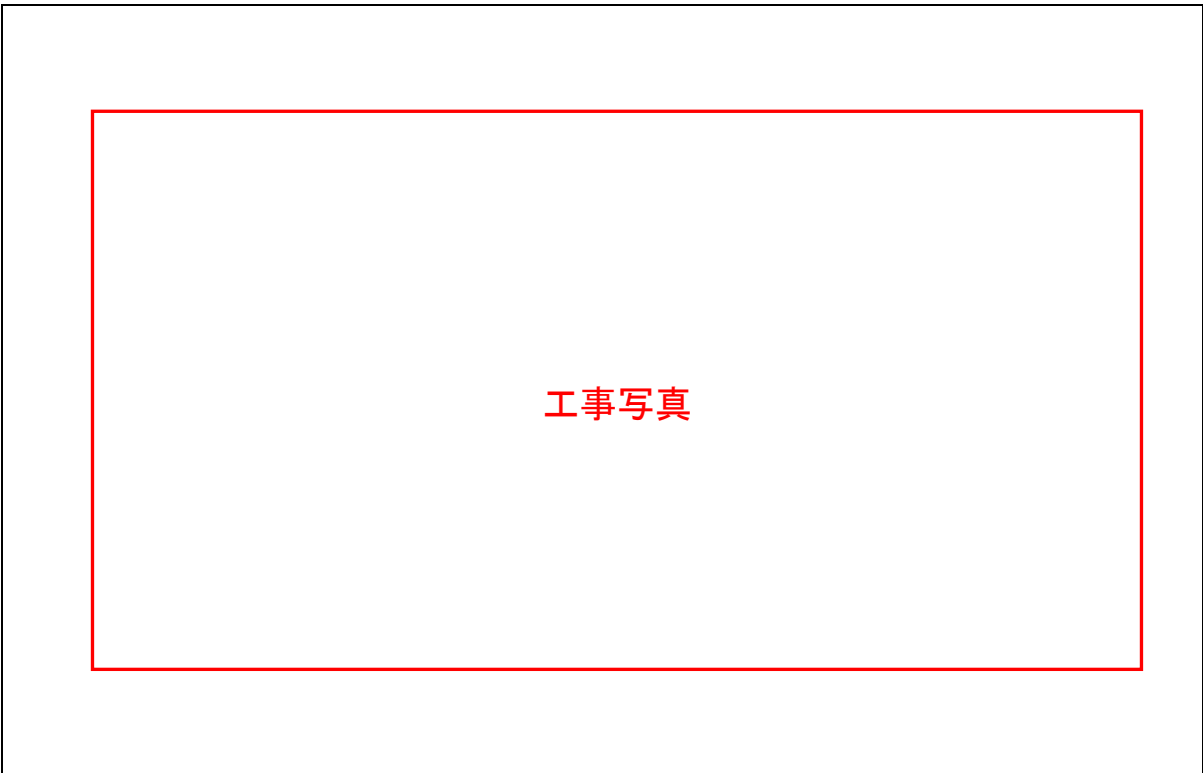
写真 No. ○○ 工事箇所 No. ○○ 工事内容 ( ○○○ )

記入例



工事写真

写真 No. ○○ 工事箇所 No. ○○ 工事内容 ( ○○○ )



工事写真

※ 写真枚数が多いときは、この用紙をコピーの上、お使いください。

(第 ○面 / ○面)

## 耐震改修工事住宅概要書（個表）

(シェルター型工事費補助・屋根軽量化工事費補助)

住宅の名称	洲本 太朗		
住宅の所在地（地番）	洲本市本町三丁目 525-2		① 住所と同一 2 住所と別
住宅の所有者	氏名	洲本 太朗	
	住所	洲本市本町三丁目 4 番 10 号 TEL 0799-22-3321	
工事監理者 又は施工者	事務所等名	耐震建築株式会社	
	担当者氏名	耐震 進 TEL 0799-24-7611	
建築確認年月日	昭和37年 4月 3日 第 洲1 号 ・ 不明		
検査済証	昭和38年 3月 31日 第 洲1 号 ・ 不明		
建築年月	昭和38年 4月頃竣工		
規模 改修前：上段( )書き 改修後：下段	地上 ( 2 ) 階 地下 ( ) 階 塔屋 ( ) 階		
	建築面積 (90.00) m <sup>2</sup> 延べ面積 (120.00) m <sup>2</sup> 90.00 120.00		
店舗等併用住宅の 場合の規模	店舗等の用に供 する部分の 床面積	30.0 m <sup>2</sup>	延べ面積に対する 店舗等の用に供する部分 の床面積の割合 25.0%
	構造種別	① 木造 2 鉄骨造 3 鉄筋コンクリート造 4 鉄骨鉄筋コンクリート造 5 その他 ( )	
備考			

## 添付書類

- 1 補助金 算定・精算書（様式第耐震部分2号）
- 2 住宅の所有者及び建築年月が確認できる書類で、次の各号のいずれかの写し
  - (1) 住宅の建築時の建築確認通知書又は検査済証
  - (2) 住宅の登記事項証明書
  - (3) 住宅の固定資産課税台帳登録証明（建築年月が記載されたもの）
  - (4) その他住宅の所有者、建築年月を証明する書類
- 3 様式第耐震部分3号(耐震診断報告書)
- 4 所得証明書の写し
- 5 住宅耐震改修に係る図書
  - (1) 付近見取り図（方位、道路及び目標となる地物を明示したもの）
  - (2) 配置図
  - (3) 平面図、立面図（耐震改修前後）
  - (4) その他耐震改修工事内容が確認できる図書
- 6 改修工事に係る建築確認済証の写し（改修工事（増改築含む）に建築確認が必要な場合のみ）

補助金 **算定**・~~精算~~書

住宅改修業者登録 **兵住改A〇** 第 **〇〇〇〇** 号

所在地 **洲本市〇〇〇〇**

会社名 **耐震建築株式会社**

代表者名 **耐震 進**



印

下記のとおり **見積り**・~~精算~~ 致します。

( シェルター型工事費補助 **屋根軽量化工事費補助** )

住宅の所有者	<b>洲本 太郎</b>
住宅の所在地	<b>洲本市本町三丁目 525-2</b>
総工事費 (c)=(a)+(b)	<b>2,500,000円</b>
補助対象工事費 (a)	<b>2,000,000円</b>
その他工事費 (b)	<b>500,000円</b>

【添付書類】耐震改修工事費内訳書

I. 直接工事費 内訳書

名称	数量	単位	金額	備考
A. 補助対象工事				
直接工事費・共通費・諸経費(a)	1	式	2,000,000	
消費税	1	式	200,000	
合計			2,200,000	
B. 補助対象外工事				
直接工事費・共通費・諸経費(b)	1	式	500,000	水回り改修工事等
消費税	1	式	50,000	
合計			550,000	
総小計(c)=(a)+(b)			2,500,000	
総合計			2,750,000	
A. 補助対象工事費				
A-1 直接工事費				
(1)直接仮設工事	1	式	〇〇〇〇	
(2)耐震補強工事 1	1	式	〇〇〇〇	
(3)耐震補強工事 2	1	式	〇〇〇〇	
(4)屋根工事	1	式	〇〇〇〇	
( ) …	1	式	〇〇〇〇	
( ) …	1	式	〇〇〇〇	
( ) …	1	式	〇〇〇〇	
( ) …	1	式	〇〇〇〇	
A-2 共通費・諸経費	1	式	〇〇〇〇	
A-3 消費税	1	式	〇〇〇〇	
A 合計			〇〇〇〇	



A. 補助対象工事費 内訳明細書

名称	摘要	数量	単	単価	金額	備考
(1)直接仮設工事						
墨出し			式			
足場			m <sup>2</sup>			
養生			m <sup>2</sup>			
...						
計						
(2)耐震補強工事 1	①和室 1					
構造用合板	t=12		m <sup>2</sup>			
壁 部分解体			m <sup>2</sup>			
床 部分解体			m <sup>2</sup>			
天井部分解体			m <sup>2</sup>			
壁 部分仕上			m <sup>2</sup>			
床 部分仕上			m <sup>2</sup>			
天井部分仕上			m <sup>2</sup>			
片引きフラッシュドア	しな合板 W900*H1,820		箇所			新設
計						
////////////////////////////////////						
(4) 屋根工事						
屋根ふき替え工事		○	m <sup>2</sup>	○○	○○○	
樋取替え工事	横樋 取替え工事	○	m	○○	○○○	
計					○○○○	
////////////////////////////////////						
( )						
計						

## 耐震工事事業計画書

洲本市長 様

施工者 住宅改修業者登録兵住改 A〇第〇〇〇〇号

所在地 洲本市〇〇〇〇

会社名 耐震建築株式会社

代表者名 耐震 進



耐震助 様の所有されている住宅の耐震改修工事の計画は下記のとおりですので報告します。  
記

1 住宅の名称	洲本 太郎
所在地	〒656-0025 洲本市本町三丁目 525-2
2 耐震改修の概要	(補強方式) <input checked="" type="checkbox"/> シェルター型工事 <input type="checkbox"/> 非常に重い屋根を重い屋根又は軽い屋根に軽量化する工事  (補強内容)  シェルター型工事を行う。
3 改修前の診断結果(総合評点)	改修前 0.25点 (屋根軽量化工事費補助の補助対象は、評点が0.7以上と診断されたものに限る)
4 備考	

※ 改修前の住宅の診断結果について次のいずれかを添付してください。

- 12年度から14年度に実施した「わが家の耐震診断推進事業」又は17年度から実施している「簡易耐震診断推進事業」の診断結果
- 新たに現況住宅の一般診断を行った場合は、当該耐震診断計算書（診断者の記名押印のあるものに限る。）

## 耐震工事業計画書

洲本市長 様

施工者 住宅改修業者登録兵住改A〇第〇〇〇〇号  
所在地 洲本市〇〇〇〇  
会社名 耐震建築株式会社  
代表者名 耐震 進



耐震助 様の所有されている住宅の耐震改修工事の計画は下記のとおりですので報告します。  
記

1 住宅の名称	洲本 太郎
所在地	〒656-0025 洲本市本町三丁目 525-2
2 耐震改修の概要	(補強方式) <input type="checkbox"/> シェルター型工事 <input checked="" type="checkbox"/> 非常に重い屋根を重い屋根又は軽い屋根に軽量化する工事  (補強内容)  土敷きの瓦屋根(非常に重い瓦屋根)を金属製の屋根(軽い屋根)に改修し、屋根軽量化による耐震改修を行う。
3 改修前の診断結果(総合評点)	改修前 0.75点 (屋根軽量化工事費補助の補助対象は、評点が0.7以上と診断されたものに限る)
4 備考	補助対象外工事として水回りの改修工事を行う。

※ 改修前の住宅の診断結果について次のいずれかを添付してください。

- 12年度から14年度に実施した「わが家の耐震診断推進事業」又は17年度から実施している「簡易耐震診断推進事業」の診断結果
- 新たに現況住宅の一般診断を行った場合は、当該耐震診断計算書(診断者の記名押印のあるものに限る。)

### 耐震改修工事実施確認書

本耐震改修工事は、〇〇年〇〇月〇〇日付洲都第〇〇号の2の交付決定通知書のとおり実施しており、当該申請書に記載している改修後の耐震性能を有することを確認しましたので、補助金交付決定通知書第6項に規定する耐震改修工事状況写真を添えて報告します。この確認書に記載の事項は事実と相違ありません。

確認者氏名 **建築 士郎** 建築 印  
 (一級) 建築士 (〇〇) 登録第 〇〇〇〇〇〇 号  
 建築士事務所名 **耐震建築株式会社**  
 (一級) 建築士事務所 (〇〇) 知事登録第 〇〇〇〇号

□ 耐震改修工事状況写真

1 住宅の名称	洲本 太郎
所在地	〒656-0025 洲本市本町三丁目 525-2
2 工事写真撮影箇所図*	

1階平面図

※ 工事写真撮影箇所図の作成要領

- (1) 右図の例にならって撮影箇所を図示してください。
- (2) 補強箇所を明示し、凡例を設ける等して適宜補強方法を付記してください。

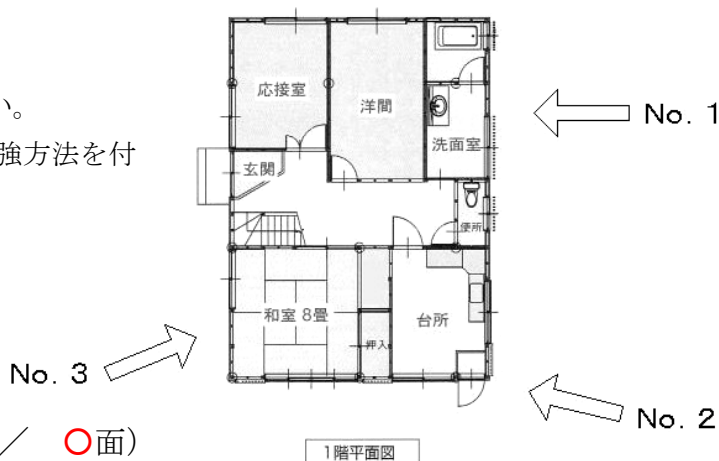
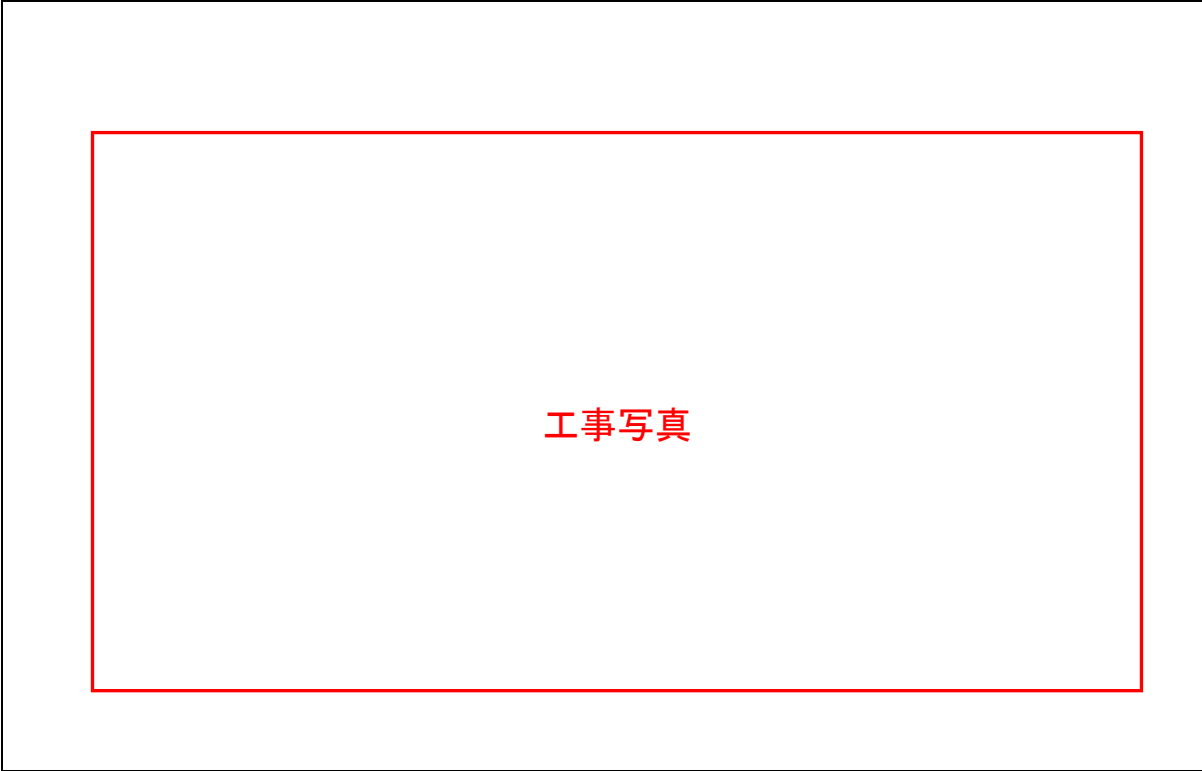


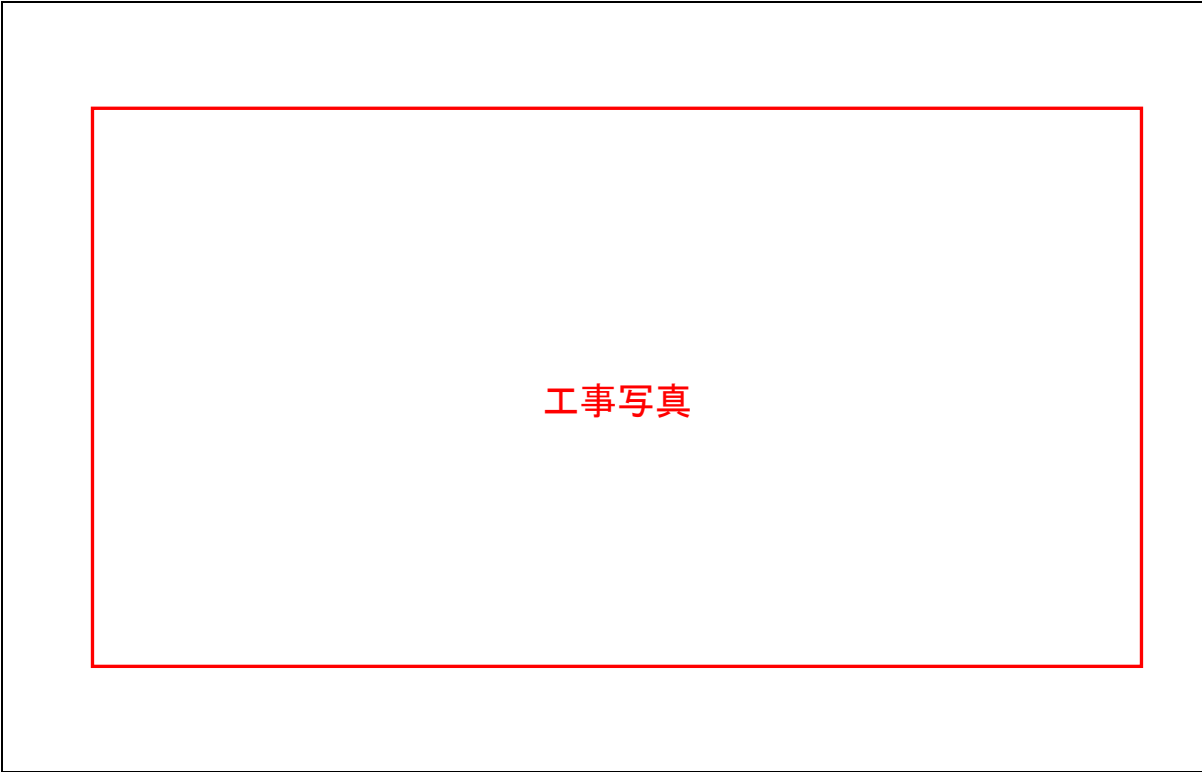
写真 No. ○○ 工事箇所 No. ○○ 工事内容 ( ○○○ )

記入例



工事写真

写真 No. ○○ 工事箇所 No. ○○ 工事内容 ( ○○○ )



工事写真

※ 写真枚数が多いときは、この用紙をコピーの上、お使いください。

# 住宅概要書

記入例(建替)

補助対象		<input checked="" type="checkbox"/> 建替・ <input type="checkbox"/> 防災ベッド		
申請者等	申請者氏名	洲本 太郎	TEL 0799-22-3321	
	申請者住所	洲本市本町三丁目4番10号		
	所得	〇〇年度所得	〇〇〇〇〇〇〇円	
(防災ベッドを設置する住宅) 除却する住宅	所有者氏名	洲本 一郎	(申請者との関係 父)	
	居住者氏名*	洲本 太郎	(所有者との関係 本人)	
	所在地	洲本市本町三丁目525-2		
	築年月	昭和40年 4月	地番を記入	
	構造・階数	構造 木造	階数 2階建	
	耐震診断結果	「危険」・「やや危険」(評点又はIs値 0.54)		
(防災ベッドの場合記入不要) 新たに建築する住宅	所有予定者	洲本 太郎		
	居住予定者	洲本 太郎		
	設計者	氏名 建築 士郎	建築 印 建築士資格 ( 一級建築士 第〇〇〇〇〇〇 号 )	
	耐震基準適合証明者	現行の建築基準法に適合していることを証明します。 氏名 建築 士郎 建築士資格 ( 一級建築士 第〇〇〇〇〇〇 号 )		
	工事費見積額	合計	30,000,000円	
		内訳	除却費 ( 2,000,000 ) 建築費 ( 28,000,000 )	
工事完了予定年月日	〇〇年〇〇月〇〇日			
(建替の場合記入不要) 防災ベッド	製造者・名称等			
	設置費見積額			

※居住者は代表者

# 住宅概要書

記入例(ベッド)

補助対象		□建替・ <input checked="" type="checkbox"/> 防災ベッド	
申請者等	申請者氏名	洲本 太郎	TEL 0799-22-3321
	申請者住所	洲本市本町三丁目4番10号	
	所得	〇〇年度所得	〇〇〇〇〇〇〇円
(防災ベッドを設置する住宅) 除却する住宅	所有者氏名	洲本 太郎	(申請者との関係 本人)
	居住者氏名*	洲本 太郎	(所有者との関係 本人)
	所在地	洲本市本町三丁目525-2	
	築年月	昭和38年 4月頃	
	構造・階数	構造	2 階数
	耐震診断結果	「危険」 「やや危険」 (評点又はIs値 0.25 )	
(防災ベッドの場合記入不要) 新たに建築する住宅	所有予定者		
	居住予定者		
	設計者	氏名	印
		建築士資格 ( 第 号 )	
	耐震基準適合証明者	現行の建築基準法に適合していることを証明します。	
		氏名	印
		建築士資格 ( 第 号 )	
工事費見積額	合計	円	
	内訳	除却費 ( )	建築費 ( )
工事完了予定年月日			
(建替の場合記入不要) 防災ベッド	製造者・名称等	〇〇〇〇株式会社・〇〇防災ベッド	
	設置費見積額	〇〇〇〇〇〇円	

※居住者は代表者

税抜き額